

一考

物語というものはそもそも

$$\int_0^{\infty} \{\sin(Q+x) + \sin^{-1} x\} dx \quad \text{がどうのこうのとかが}$$

そういったこととは違うところから始まるものだったが
近ごろではそうでもないらしいと聞く

存在の法則についての様々な数式
集合と確立の関係についての公理の提唱
まあそんなことが原点になりうるのだと
受け手からさえ言われたりするらしい

僕もまたそういう説に賛同する者のひとりだが
何しろついつい感じることに溺れてしまい
何も考えることができなくなってしまうもので
結局のところ法則もへったくれもないところに行き着いてしまう

(1989.12.16)